

「笑顔あふれるまち 飯南町」

いーなん



飯南町広報 平成29年11月20日 No.155

平成28年度
まちの決算

2017
11
月号
iinan public
relations magazine

AR
動画

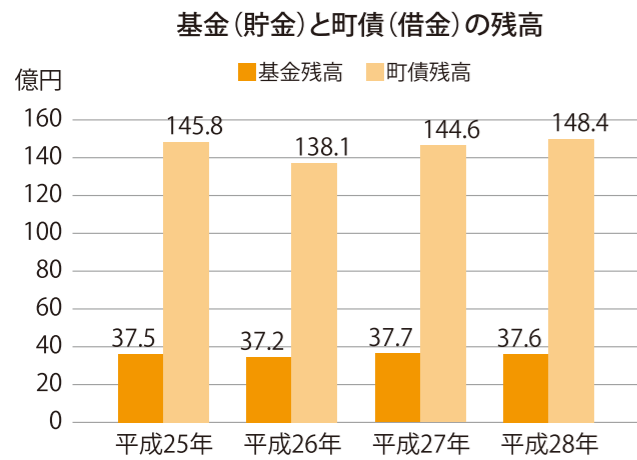
紅葉が彩る志津見の秋

まちの決算

基金(貯金)と町債(借金)の残高

基金は、約37億円で推移しています。平成28年度は、奨学基金や若者女性応援基金などに約8千万円を積み立てて、庁舎建設やふるさとの森運営などのために94百万円を取り崩しました。

町債は、平成26年度末に138.1億円と町合併後最も少なくなりましたが、平成27年度から増加に転じ、28年度末では約148億円となっています。町は、住宅や道路、水道などを整備するときに、国や金融機関からお金を借りています。(基金・町債残高には、特別会計分を含む)



まちの財政の健康状態を表す指標

実質公債費比率 9.8% (昨年度11.0%)

家計に例えると、年収に対してローンの年間返済額が何割あるかを表しています。昨年度から1.2%減少し、現時点では健全な状態と言えます。平成29年度はさらに減少する見込みですが、平成30年度以降は上昇していく見込みで、公共施設などの建設や統廃合には適切な判断が必要だと考えます。(この指標が25%以上になると、一部の起債(借金)の借入れが制限されます)

将来負担比率 47.7% (昨年度55.1%)

家計に例えると、ローンの残額や子どもへの仕送り費用など将来負担しないといけない費用の合計が、年収の何年分あるかを表しています。昨年度から7.4%減少しましたが、町債の残高が増えると上昇する可能性があります。

経常収支比率 92.4% (昨年度88.0%)

人件費や扶助費、借金の返済費用のように毎年度決まって支払われる経費が、税金や普通交付税などの使い道が限定されない毎年度経常的に収入されるお金のどのくらいを占めているかを表しています。

比率が100%に近くなると、自由に使えるお金が少なくなり、財政にゆとりがなくなります。

特別会計

全ての会計で、黒字決算となりました。簡易水道事業では、佐見地区の水道敷設工事に着手したほか、杉戸浄水場の改修工事を実施しました。下水道事業では、浄化槽を新たに13基設置したほか、平成29年度から利用が始まった雲南広域連合の処理施設へ汚泥を搬入するため、頓原浄化センターの設備を改修しました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	7億35万円	6億9,981万円	54万円
後期高齢者医療事業	1億7,849万円	1億7,757万円	92万円
介護保険サービス事業	3,179万円	2,732万円	447万円
簡易水道事業	4億2,337万円	4億1,831万円	506万円
下水道事業	4億7,663万円	4億7,105万円	558万円

病院事業会計

病院事業会計(収益的収支)は、入院収益は減少しましたが外来収益が増加し、また経費が抑えられたことから、単年度利益は5,870万円となりました。病院事業会計(資本的収支)は、眼科診断機器や心電計、待合室のソファなどを更新しました。

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
病院事業(収益的収支)	10億3,908万円	9億8,038万円	5,870万円
病院事業(資本的収支)	7,018万円	1億4,042万円	-7,024万円

※収益的収支は、病院の経営活動に係るもの(料金収入や人件費、施設維持費、薬品費など)
資本的収支は、施設、医療機器の整備や借入金の返済費用などに係るもの

町民1人当たり1世帯当たり

人口 5,029人
世帯 2,047世帯
[平成29年4月1日現在]

使った費用【一般会計】

80億9,335万円
1人 161万円
1世帯 395万円

負担した税金【一般会計】

5億679万円
1人 10万円
1世帯 25万円

借入金残高【一般会計】

97億3,211万円
1人 194万円
1世帯 475万円

借入金残高【全会計】

148億4,222万円
1人 295万円
1世帯 723万円

基金残高

37億5,577万円
1人 75万円
1世帯 183万円

まちの決算

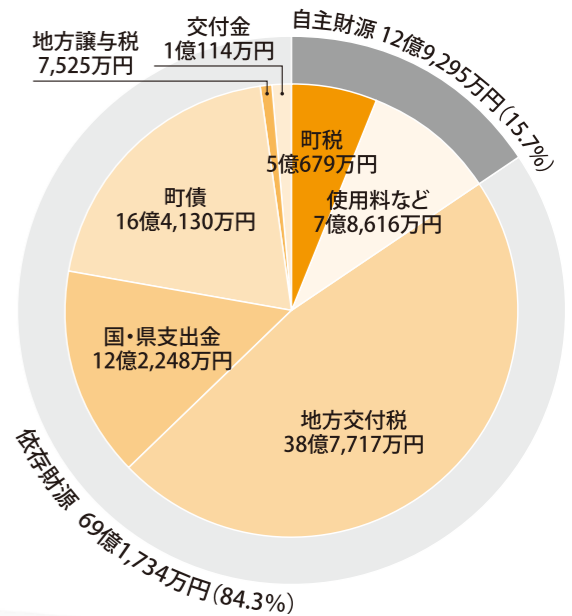
平成28年度

平成28年度の一般会計と特別会計の決算認定を9月議会に提出しました。議会では、決算審査特別委員会(内藤真一委員長他5名)を設置し、12月議会で報告される予定で審査が行われています。今月号は、平成28年度に町が実施した事業にどのようにお金が使われたかを紹介します。

歳入の状況
町税は、固定資産税や軽自動車税の収入が増えたことから、昨年度から約2千万円増加しました。
歳入全体で見ると、総額の47%を地方交付税が占めるなど、歳入の8割以上を国・県から交付される資金で賄っています。地方交付税は町合併による加算分が段階的に縮小しており、今後も歳入に見合った財政運営が必要となっています。

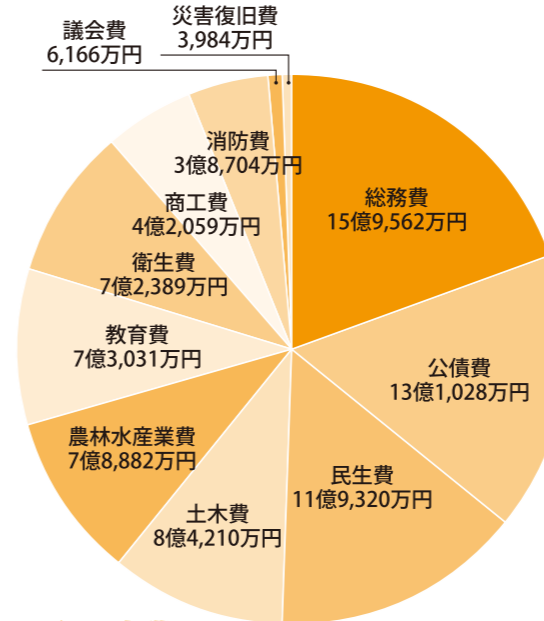
歳入 [一般会計]

歳入合計 82億1,029万円



歳出 [一般会計]

歳出合計 80億9,335万円



各費目の主な事業

- 総務費** 庁舎建設、定住促進住宅建設(4戸)、携帯電話鉄塔建設(伊比)、デマンドバス整備(2台)、地域おこし協力隊など
- 民生費** 臨時福祉給付金、保育所運営など
- 土木費** 町道整備、除雪車整備(11tドーザ)、公営住宅用地造成など
- 農林水産業費** リースハウス団地整備、農業基盤整備、鳥獣被害防止など
- 教育費** 交流センターとんぼら建設、赤名小学校大規模改修など
- 衛生費** 医療従事者確保対策助成金、各種健診・予防接種など
- 商工費** 琴引スキー場人工降雪機整備・圧雪車整備など
- 消防費** 消防ポンプ自動車整備(1台)、防災行政無線整備など。

【総務費】選挙、庁舎維持費、地域振興などに使われる費用
【公債費】町債(借金)の返済費用
【民生費】保育所や高齢者・障がい者福祉、生活保護などに使われる費用
【衛生費】予防接種や健康診断、ごみ処理、環境の保全などに使われる費用



まちの未来を考える 子ども未来会議



子どもたちにとっても、大人の
思いを知る良い機会となりました

10/12
木



会場いっぱいの参加者

地域を上げて 銀山街道に案内看板を設置

観光などで赤名を訪れた人が、銀山街道に立ち寄りやすいようにと、案内看板4本が設置されました。
(下赤名1本、上赤名3本)
山陽、石見・出雲の交通の要所として栄えた宿場町「赤名」。石見銀山が世界遺産に登録されてから10年が経過し、赤名地域でも銀山街道を中心に、歴史・文化への関心も高まっています。日本遺産の認定に向けて、地域をあげての取り組みが進んでいます。



赤名地域まちづくり連絡会の皆さんが設置

10/26
木



講師の児島邦宏名誉教授

頼原農村環境改善センターみせを会場に「子ども未来会議」を開催し、約300人が参加しました。
講師の東京学芸大学名誉教授の児島邦宏さんは、「子どもの学びは“体験”から始まる。理屈・理論からは入らない。体験からなぜ、どうして」という理論につなげ、実践することが大切だ」と参加者に伝えました。
また、意見交換では、参加者同士で「子どもにさせたい体験」「子どもたちが目指す姿になっていくために、自分が明日から取り組むこと」などを熱く語り合っていました。

伝説にちなんで 野見宿禰 尻すもう大会



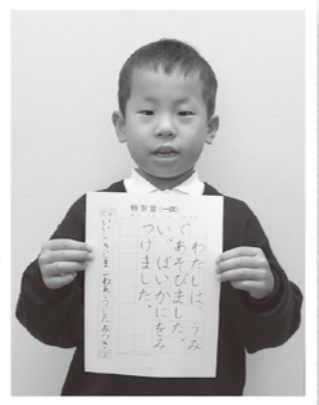
尻合って、尻合って～

10/8
月・祝

めんがみ山収穫祭に合わせて「第2回野見宿禰尻すもう大会」が開催されました。
今年は、団体戦も加わり28人が熱戦を繰り広げました。栄えある優勝者は次のとおりです。

- 小学校低学年の部 明見廣惺さん
- 小学校高学年の部 田中翔也さん
- 一般女子の部 横田華恋さん
- 一般男子の部 長田遊学さん
- 団体戦 瀬戸・向谷

宇治田光希さん 硬筆書写コンクールで特別賞(二席)を受賞



宇治田光希さん (来島小1年)

平成29年度の島根県硬筆書写コンクールで、来島小学校(1年)の宇治田光希さんが、特別賞(二席)を受賞しました。
各学年の特に優れた作品5点が特別賞に選ばれ、その中でも最も優れた作品が一席となります。県内の1年生の出品5604点の中で1番となった宇治田さんは、「うれしいです。来年もがんばる」と話していました。

新たな出発 頼原公民館まつり

交流センターとんぼらを会場に、「第12回頼原公民館まつり」が開催されました。
館内の茶室では抹茶が振る舞われたほか、写真や習字、編み物など各団体の発表や展示、子どもたちによるバザーなどがあり、多くの来場者でにぎわいました。
頼原公民館館長の石川隆さんは、「新しい会場で反省点もあります。雨の中多くの皆さんに来場していただき感謝したい」と話していました。

10/15
日



頼原中学校の吹奏楽部が会場を盛り上げます

文化の華ひらく 来島地区文化祭

10/29
日

10月29日、来島基幹集落センターで「第37回来島地区文化祭」が開催されました。
会場内では、各文化団体によるステージ発表や作品展示が行われたほか、屋外では、地区住民や有志などによる飲食店が並び、来場者のお腹を満たしていました。
また、特殊詐欺被害防止の寸劇では、詐欺師だと思っていた側がだまされるというまさかの展開に、会場からは大きな笑い声が起こっていました。



日本民謡朝啄会の皆さんによる民謡の演奏



「田園回帰1%戦略」を提唱する講師の藤山浩さん

20年先を見据えた地域づくり まちづくり講演会

10/27
金

「まちづくり講演会」を、中山間地域研究センターで開催し、地域住民など約70人が参加しました。
講師の(社)持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩さん(日29・3まで中山間地域研究センターで勤務)は、「人口の1%、地域外に流出している所得の1%を取り戻せば、地域の人口を維持し、暮らしや経済が継続的に成り立つ。地域同士の学び合いも必要だ」と参加者に伝えました。

烏田勝信さん(上来島)
烏田さんは、町教育委員会教育委員長として、町全体の教育振興、



烏田勝信さん

教育功労者表彰(県教育委員会表彰)を受賞

保小中高一貫教育の推進、ICT教育の普及推進などに取り組みました。
また、中学校教諭として、指導に図式を取り入れるなど、生徒一人ひとりの表現力や提案能力の向上に取り組み、小学校、中学校校長時代には、学校・家庭・地域の交流を進め、地域に愛される学校づくりや小中連携教育の推進に尽力されました。

永井康隆さん(谷)
永井さんは、多年にわたり町社会教育委員連絡協議会会長として豊かな経験に基づいて協議会を牽引し、地域の代表者、元公民館長など、様々な立場から本町の社会教育の充実に貢献されました。
また、公民館長時代には、「公民館を核とした社会教育の推進」を実践し、地域で子どもから高齢者まで楽しく元気の出る交流イベントの企画



永井康隆さん

社会教育功労(文部科学大臣表彰)を受賞

や話し合いができ、まとまりのある公民館の礎を築かれました。

飯南町功労者表彰式 11/3 金・祝

飯南町のために貢献した功績が特に顕著な個人・団体を表彰する「飯南町功労者表彰式」を、11月3日に飯南町役場で行いました。今回表彰を受けられた皆さんは次のとおりです。
自治功労・福祉功労表彰
本田哲三さん(上区)
頓原町長、町合併時の町長職務代理者として貢献し、また、多年、頓原町・飯南町議会議員を務め、この間、頓原町議会副議長を務めるなど、地方自治の発展に尽力されました。
また、平成19年に、株式会社「あゆみ」を立ち上げられ、小規模多機



受賞者の皆さん

能型居宅介護や認知症グループホームなどを開設し、地域福祉事業の発展・向上に尽力されました。
自治功労表彰
難波俊司さん(谷)
多年、赤来町・飯南町議会議員を務め、この間、飯南町議会副議長を務めるなど、地方自治の発展に尽力されました。
長島正一さん(佐見)
多年、飯南町議会議員を務め、この間、総務厚生常任委員会、教育経済常任委員会の委員長を務めるなど、地方自治の発展に尽力されました。
自治功労・民生功労表彰
櫻井秀憲さん(赤名)
多年、赤来町・飯南町議会議員を務め、この間、産業建設委員会、議会運営委員会の委員長を務めるなど、地方自治の発展に尽力されました。
また、飯南町民生児童委員として、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。
公衆衛生功労表彰
原藤夫さん(町区)
多年、飯南町病院事業審議会委員を務め、病院運営、地域医療の確保、発展に尽力されました。

農林業功労表彰
高橋完さん(赤名)
多年、赤来町・飯南町農業委員会委員を務め、この間、飯南町農業委員会会長を務めるなど、農業委員会を統括し、農業の振興に尽力されました。
消防功労表彰
松田栄次さん(上来島)
多年、赤来町・飯南町消防団員を務め、この間、飯南町消防団団長を務めるなど、消防体制の整備・拡充、消防団の発展に尽力されました。
教育功労表彰
和田勝祥さん(赤名)
多年、赤名小学校、赤来中学校の学校医として、児童生徒の生活習慣病の予防や指導に当たるなど、学校保健の向上に尽力されました。
民生功労表彰
前田榮子さん(寺沢)
多年、頓原町・飯南町民生児童委員を務め、この間、飯南町民生児童委員協議会副会長を務めるなど、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。
坂井孝信さん(谷)
多年、赤来町・飯南町民生児童委員を務め、この間、飯南町民生児童委員協議会会長、副会長を務めるなど、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。
門所詠子さん(下赤名)
多年、赤来町・飯南町民生児童委

員を務め、この間、飯南町民生児童委員協議会副会長を務めるなど、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。
山下富弘さん(野堂)
多年、人権擁護委員として、本町の人権啓発を図るため積極的に活動し、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。
保健功労表彰
倉橋裕子さん(上赤名)
多年、赤来町・飯南町食生活改善推進員を務め、この間、赤来町食生活改善推進協議会会長、飯南町食生活改善推進協議会会長を務めるなど、町民の食生活の改善、住民の健康増進に努め、地域保健の向上に尽力されました。
交通安全功労表彰
日高敬二さん(赤名)
多年、交通指導員として、登下校の子どもたちの交通安全の保持に努め、関係機関との緊密な連絡を図り、交通安全保持のため交通安全思想の普及に尽力されました。
観光功労表彰
若林文子さん(上区)
多年、しまね田舎ツーリズムの実践者として民泊施設を開業し、県内外や海外からの観光客に対し、田舎暮らし体験を通じた観光情報、自然・文化伝承などを伝え、本町の魅力発信に尽力されました。

飯南町防災訓練

10/15 日

災害時の警戒体制の整備や迅速な避難の実施、防災意識の向上を目的とした町内一斉の防災訓練を実施しました。

訓練には町民約1800人が参加。各地区では、避難所への避難行動や避難行動要支援者の避難方法などについて地区住民で確認と情報共有が行われ、災害時に迅速かつ的確な行動がとれるよう話し合いしました。

また、訓練後には、保健福祉センターで島根県LPガス協会による炊き出し訓練のほか、雲南消防本部



簡易トイレ(写真左)と避難所用仕切り(写真右)



訓練用の水消火器で的を倒します



保健福祉センターに隣接して整備されているガス貯蔵設備から、炊飯器にガスを供給。カレーライスが振る舞われました

の消火訓練指導や、防災士による防災用品の展示などが行われました。
防災訓練は、防災意識の啓発のためにも定期的に開催します。

笑顔あふれる

町づくり座談会



8月から10月にかけて、町内13会場で町づくり座談会を開催しました。

今年は、自治区単位を基本として、町民の皆さんから要望のあったテーマに沿って説明をしました。主な意見と町の回答を紹介します。

〈Q質問 A回答〉

防災

Q 避難所の鍵の開閉や運営は誰がするのか。

A 各地区の集会所は地区の代表者ですが、公共施設の中には、明確でない場所もあります。避難所の具体

的な運営方法は、今後示します。

Q 防災士の役割、位置づけ、活用は。 A 自治会や組で防災組織を作る際のリーダー役となっていたいただきたいと考えています。

Q 消防団員が減少し、機器の管理がしつかりできるのか不安。 A 維持管理の負担が大きくなっていることは認識しています。

整備後20年を越える古い車輛は、順次更新しており、更新に併せて、消防団とも協議して団の再編も検討したいと考えています。

Q 防災行政無線が、特に屋外で聞こえにくい対策は。 A 今年度、町全域に防災行政無線を整備しました。屋外スピーカーは、頓原12カ所、赤来11カ所の全23カ所です。音声聞こえにくい等の意見が複数あり、調査して、改善できるものは早急に対応したいと考えています。

Q Uターン者、地元や近隣で就職した人への支援制度はないか。 A 以前はUターン者向けの制度が多かったですが、近年はUターン者への支援も進めています。町外への通勤助成、定住促進賃貸住宅など、

定住

しかし、学習や一人ひとりに目を向けるという点では、この規模は良い面もあり、今の学校数は維持する考えです。子どもたちが育つ環境づくり、最善な方法を考えなければなりません。

高校では、オープンキャンパスで県外生徒の親と一緒に食事をする機会を設けたり、上赤名ではホストファミリーを地域ぐるみで取り組んでいる例もあり、生徒確保につながる

Uターン者でも利用できるような支援の幅を広げています。

地域運営

Q 小さな拠点の範囲は、公民館単位とこのことだが、範囲が広く実現できるか疑問だ。 A 小さな拠点では、各集落が個々ではできないことを互いに補って、自主的な地域づくりを進めることを目指しています。各集落で解決できないことは自治区で、自治区でできないことは小さな拠点という考え方です。

地域の将来の理想の姿を、皆さんと一緒に考えていきます。

施設

Q 公共施設の今後の維持管理の方針は。 A 公共施設の維持管理には、多額の費用がかかっています。公共施設等総合管理計画に基づいて、施設の今後のあり方を検討中です。

Q 旧頓原庁舎の跡地利用の考え方は。周辺の遊休施設も含めた計画を示してほしい。 A 旧庁舎跡地は、駐車場やイベント広場として活用したいとの要望をお聞きしています。全て撤去し整地して、広場的な活用になると考えています。行政の責任として、頓原地区のまちづくりの方向性を示します。

Q デマンドバスの利用者が少ない

制は整えられないか。 A 設備やスタッフ体制のこともあり、現在は考えていませんが、人工透析が必要な方には通院支援を行っています。永澤副院長が糖尿病の専門医ですので、予防の面で、病院としての役割を果たしていきたいと考えています。

Q 近年、飯南病院の雰囲気が大きく変わり喜んでいる。 A 町民の皆さんと、一緒になって病院を良くしていきたいと考えています。地域、町民の皆さんに身近な病院として頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひします。

Q 町内で子どもを産める体制が整えられないか。 A 病院として今進めているのは、総合医という幅広く診療ができる医師が、地域の大部分の方の病気を診る体制を作っていくことです。高度な医療機関での治療が必要な場合は、三次や出雲の医療機関と連携して対応する方針で進めています。今

は出産の対応をする計画はありませんが、心に留めておき、将来可能であれば、検討したいと思ひます。

Q 若い女性や子育て中の人は、この座談会の時間帯では参加しにくい。 A 町としても若者や女性の意見はぜひ聴きたい。開催時間や内容、手法は今後見直します。

と聞く。利用促進への考えは。

A 利用方法が分かりにくいとの声があり、利用方法を解説した番組をケーブルテレビで放映するなど、PRを進めています。

Q 高齢のため免許返納された人への、経済的な支援はないか。 A 免許返納時に、生活路線バスやデマンドバスなどの回数券を発行しています。タクシー利用券や継続的な支援は、今後検討します。

Q 定住やビジネス、創業でもネット環境が重要。事務所経費など安い田舎であれば創業しやすいのでは。 A できる限り早期に、光回線を整備したいと考えています。

Q 農業の担い手不足にどう対応していくのか。 A 今年7月に、農業担い手支援センターを立ち上げました。5年後、10年後の農業を維持していくために、担い手づくりを進めます。

また、頓原集落営農組織連絡協議会、赤来担い手連絡協議会などの意見を聞きながら、農業法人組織の広域連携を進めたいと考えています。

Q 農業振興計画の推進には、生産現場の声を聞く必要がある。役場職員は現場に出掛けて、町民の声を聞いて仕事を進めてほしい。 A 農業振興計画は、農林業振興協

会、赤来担い手連絡協議会などの意見を聞きながら、農業法人組織の広域連携を進めたいと考えています。

Q 役場職員は、町民、現場の意見や県との連携を密にして業務を進めてほしい。 A 職員が、町の皆さんに満足していただける仕事をしていくためには、広い視点で話ができる職員の養成が必要だと考えています。

Q 健全な財政運営のため、実質公債費比率を下げることは必要だが、必要な施策は行うべき。 A 借金を減らすのが目的ではないので、健全な財政の基に町民の皆さんの声に応えていきたい。

Q よい取り組みや制度があるのに、町民に伝わっていない。 A 町には、素晴らしいところや美味しいものがたくさんあります。今後、広報誌やホームページを通じて情報発信を強化します。

Q 現場職員は、町民、現場の意見や県との連携を密にして業務を進めてほしい。 A 職員が、町の皆さんに満足していただける仕事をしていくためには、広い視点で話ができる職員の養成が必要だと考えています。

Q 健全な財政運営のため、実質公債費比率を下げることは必要だが、必要な施策は行うべき。 A 借金を減らすのが目的ではないので、健全な財政の基に町民の皆さんの声に応えていきたい。

Q よい取り組みや制度があるのに、町民に伝わっていない。 A 町には、素晴らしいところや美味しいものがたくさんあります。今後、広報誌やホームページを通じて情報発信を強化します。

Q 現場職員は、町民、現場の意見や県との連携を密にして業務を進めてほしい。 A 職員が、町の皆さんに満足していただける仕事をしていくためには、広い視点で話ができる職員の養成が必要だと考えています。

Q 健全な財政運営のため、実質公債費比率を下げることは必要だが、必要な施策は行うべき。 A 借金を減らすのが目的ではないので、健全な財政の基に町民の皆さんの声に応えていきたい。

役場通信

教育

Q 高校の生徒確保の取り組みは効果が上がっているが、小中学校の児童・生徒数の減少は心配だ。 A 集団での学習やクラブ活動には、

支障が起きている部分もあります。

Q 国々の農業政策の見直しに関する対策は。 A 生産者の皆さんにも大きな不安が広がっています。町としては、県知事に対して、農業振興への継続した支援を要望し、現場の声、地方の声を、国へも伝えるようお願いしました。また、町独自の農業振興、園芸振興を、町全体で進めることが大切だと考えます。

Q 飯南米、島根米を全国に売り出す知恵と工夫は。 A 飯南町のエコ米は「安全でうまい」ということを、広くPRしなければなりません。県へは、県全体としての米の産地化を進めるよう要望しています。

Q 下来島地区の畜産事業による悪臭に対する指導などの対策は。保健所も共に行政指導してもらいたい。 A 町、事業者で協議して必要な指導を行います。

Q 飯南町のエコ米は「安全でうまい」ということを、広くPRしなければなりません。県へは、県全体としての米の産地化を進めるよう要望しています。

Q 下来島地区の畜産事業による悪臭に対する指導などの対策は。保健所も共に行政指導してもらいたい。 A 町、事業者で協議して必要な指導を行います。

Q 飯南町のエコ米は「安全でうまい」ということを、広くPRしなければなりません。県へは、県全体としての米の産地化を進めるよう要望しています。

福祉

Q 高齢化、独居が進んでいる。集合住宅やグループホームを整備する考えはあるか。 A 現在住む地域の周辺で暮らしていける対策が必要です。町から出なくても、最期まで安心して自分らしく生活できるようにしたいと考えています。来年度に向けて継続して検討します。

Q 福祉現場の経営の厳しさ、人材不足に対する対策は。 A 施設を大きな枠組みで二つにすることで、人材不足をカバーできないか、関係団体の皆さんと協議しています。

Q 長生き体操への参加はどのような状況か。 A 現在、町内36箇所約420人の皆さんが参加しておられます。

Q 飯南病院で人工透析ができる体

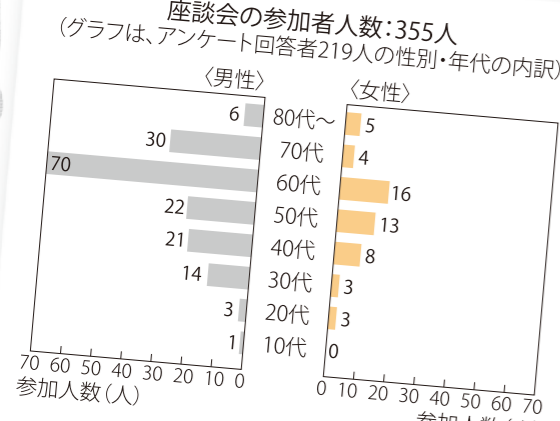
医療

Q 飯南病院で人工透析ができる体

Q 飯南病院で人工透析ができる体

Q 飯南病院で人工透析ができる体

Q 飯南病院で人工透析ができる体



健康工房

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

インフルエンザに注意が必要な季節がやってきました。年によって差がありますが、例年11～12月に流行が始まり、翌年1～3月頃に患者数が増加しています。

飛沫感染と接触感染
インフルエンザの感染経路は、飛沫感染と接触感染の2種類。

飛沫感染は、せきやくしゃみによって、つばなどに含まれるウイルスが、口や鼻から体内に入り込んでしまうことです。

また、ウイルスに感染した人がせきを手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後に、ドアノブやスイッチなどに触れると、その場所にウイルスが付着します。その場所を他の人が手で触れ、さらにその手で鼻や口に触れることで、ウイルスが体内に入り込んでしまいます。これを接触感染といいます。

インフルエンザにかららないために
早めの予防接種、外出後の手洗いが、適切な湿度の保持(50～60%)、十分な栄養と栄養バランスのとれた食事、人ごみを控えるなどの予防法があります。特に高齢者や慢性疾患のあ

飯南 便り

インフルエンザにご注意

る人、妊娠している人、疲れ気味・睡眠不足の人は、人混みへの外出を控え、人混みに入るときはマスクを着用し、短時間で済ませることが大切です。



インフルエンザの予防には「不織布マスク」

新しい医師を紹介します

10月から飯南病院で働いている医師の上野伸行です。出身は東京都葛飾区で、島根大学医学部を卒業し、以前は島根県立中央病院の総合診療科に勤務していました。

地域に根差した医師を目指して、地域の皆さんが安心して過ごせる医療を提供できるよう頑張ります。日々精進していきますので、よろしくお願ひします。



上野伸行 医師

保健福祉センター

ようこそ「72歳塾」へ!

平成22年から、毎年「72歳塾」を開催しています。今年度は10月10日(火)に開催し、23名の皆さんが参加されました。72歳塾の案内状が来る方は、「今年度72歳になる」皆さんです。

なぜ72歳なのか?

①還暦から干支が1周。年男・年女でもあり、自分の年齢を再認識す



元気にいきいき72歳!

④8020(80歳になっても20本以上の歯を残そう!)達成を目指して、自分の歯を大切にしておきたい歳です。

さまざまな節目の年になることから、これからの人生に向けて、知識を得ていただき、生活習慣について考えていただくことで、元気に過ごしていただきたいという思いを込めて開催しています。

参加者の皆さんは、久しぶりに会った同級生と談笑され、懐かしさ半分、今後の人生にためになる学び半分、楽しく有意義な時間を過ごされました。

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

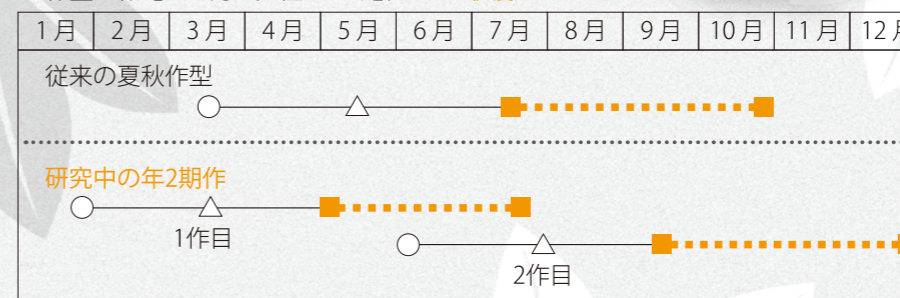
トマトの年2期作栽培方法を研究

●中山間地域研究センター
電話0854・76・2025
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



中山間地域研究センターで開発した木質バイオマスボイラー

各作型の概略図 (○: 播種 △: 定植 ■: 収穫)



当センターでは、トマトの年2期作栽培の方法を研究しています。従来、中山間地域では、7～10月に収穫する、夏秋作型のトマト栽培が主流です。年2期作では、5～7月と9～12月に収穫が可能となり、収穫期間が長



栽培試験中のミニトマト

くなるため、収量が大幅に増加し、所得増加も期待できます。

しかし、11～3月までの寒い時期には、ハウス内を加熱する必要があり、飯南町のように標高の高い地域では、加熱経費が高くなります。そこで、加熱経費を安くするため、灯油ではなく木質ペレットを使った加熱の方法も研究しており、トマト栽培ハウスでの冬期試験では30～50%の燃料費が削減できました。

今後、研究を進め、収量増加と加熱経費の削減で所得を増やし、中山間地域でトマト栽培だけで生活ができるように研究を進めていきたいと考えています。

誰もが安心・安全に暮らせる志々地区を創る

～志々地区～

志々地区でデマンドバスの運行始まる

志々地区では、10月からデマンドバスの運行が始まりました。年度当初から地区内の自治会、老人クラブ、保護者の皆さんなど、運行に向けて協議を重ねてきました。

自治会として町にデマンドバス運行に関する要望書を提出したほか、志々地区独自のバス時刻早見表を作成するなど、地域住民のための適切な交通手段の確保に皆さんと一緒に取り組んでいます。



デマンドバス



志々地区独自のバス時刻早見表

八福神で地域を活性化

志々地区内にある八社『八福神』を、志津見ダム水源地域ビジョンの一環として地域活性化に役立てようと、案内マップの作成やサイクリングイベントの開催に向けて、志々公民館と一緒に企画・検討しています。



八福神由来マップ

住みよいまちへ 集落支援員

町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介します。

放送大学4月生募集

放送大学では、平成30年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学は、テレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。

入学期間

・第1回募集
12月1日(金)～2月28日(水)
・第2回募集
3月1日(木)～3月20日(火)

自治体共同公売会

地方税等の滞納者から差し押さえた財産の公売会を開催します。
参加資格 20歳以上の人。本人確認書類(運転免許証など)の持参が必要
日時 12月10日(日)10時～13時
会場 島根県松江合同庁舎(2階講堂)
公売物件 絵画、掛軸、陶器、インテリア小物など
落札者 当日14時30分に公売場所で掲示
買受代金 当日15時までに公売場所で支払い

■お問合せ
住民課 電話76・2213

資料(無料)の請求は、放送大学島根学習センターまたは放送大学ホームページまで
入学説明会・相談会
日時
12月10日(日)13時～14時30分
会場/出雲中央図書館

年末ジャンボしまね企業博

対象 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等に在学中の学生
日時 12月28日(木)10時～16時
会場 くにびきメッセ

お問合せ

放送大学島根学習センター
電話0852・28・5500

「景観フォトコンテスト」作品募集

応募資格 町民の人
応募締切 平成29年12月28日(木)
部門・応募方法 両部門とも1人2作品まで、未発表作品に限る
●一般カメラの部(デジタルカメラ含む)
写真サイズ2L判にプリントした写真の裏面に、左記の応募用紙を貼り付けて、役場庁舎各支所窓口へ郵送または持参

●携帯フォトの部
携帯電話で撮影した作品を、メールに添付して
beautifultown@inanan.jpへ送信

表彰

・最優秀賞(各部門1点、賞状・賞金・副賞)
・優秀賞(各部門2点、賞状・賞金・副賞)
・佳作(賞状・副賞)

■お問合せ
住民課 電話76・2213

写真裏面に下記事項を記入した紙(応募用紙)を貼り付けてください。

作品名
住所
氏名
年齢
電話番号
撮影場所など

特設人権相談所

相談は無料で秘密は守ります。お困りのことがありましたらご相談ください。

日時
12月5日(火)10時～13時
会場
飯南町役場、保健福祉センター

■お問合せ
住民課 電話76・2213

司法書士無料法律相談

相談内容 遺産相続、遺言、不動産の売買、名義変更、お金の貸し借り、ローンの返済、悪徳商法、会社の登記、裁判、調停、成年後見等高齢者の財産管理など

●出雲(斐川)会場
日時 12月9日(土)13時30分～16時30分
会場 斐川文化会館
(出雲市斐川町21661)

出雲会場

日時 12月16日(土)13時～17時
会場 今市コミュニティセンター
(出雲市今市町15782)

お問合せ

司法書士総合相談センター
電話0852・60・9211
(受付時間 毎週月・火・木曜日の12時～15時)

求人情報

Uターン希望者・求職者・事業者のみならずへ直近1カ月に登録された、フルタイム求人の一部を紹介します。
パートタイムの求人情報や詳しい内容を知りたい方、このほかの情報もご覧になりたい方は、お問い合わせください。
求人情報の閲覧のみも可能です。



株式会社 来島牧場 72・9231	乳牛の飼養 ミキサー・トラクター・リフト運転 経験必要、普通自動車免許(AT限定可)	正社員 2人
株式会社 カワヨコーポレーション飯南牧場 0795・42・4333	乳牛の飼養 普通自動車免許(AT限定不可)	正社員 1人
株式会社 藤原建設 72・0154	土木施工管理者 50歳以下、土木施工管理経験、普通自動車運転免許(AT限定不可)、1級又は2級土木施工管理技士	正社員 1人
	土木作業員、重機オペレーター 50歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)、土木関係資格あればなお可	正社員 1人
オージェイケイ 株式会社 島根工場 76・3711	倉庫業務(フォークリフト運転) 45歳以下、高卒以上、フォークリフト運転技能講習修了普通自動車運転免許	正社員 1人
株式会社 後藤建設 72・0103	土木施工管理技術者 高卒以上、5年以上の従事経験、CAD・施工管理ソフト等パソコン操作、1級または2級土木施工管理技士、普通自動車運転免許(AT限定不可)	正社員 1人
株式会社 あゆみ 72・9373	介護員(あゆみの社) 普通自動車免許(AT限定不可)介護業務経験者・有資格者は賃金面優遇	正社員 1人
株式会社 都間土建 0854・45・2521	トラック・重機運転手 45歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)、車両系建設機械運転業務あればなお可	正社員 2人
株式会社 安部 0854・56・0422	道路メンテナンスを中心とした土木作業 普通自動車運転免許(AT限定不可)、土木関係資格と経験あればなお可	正社員 2人
中国化成工業株式会社 本社工場 76・3601	プラスチック食品容器検査工 45歳以下、高卒以上、普通自動車運転免許(通勤用)	正社員 2人
	プラスチック食品容器製造 40歳以下、高卒以上、普通自動車運転免許(通勤用)	正社員 2人

社会福祉法人 友愛会 72・0214	調理職員 調理師資格者は賃金面優遇、普通自動車免許(AT限定可)	正社員 1人
	介護職員 介護福祉士等有資格者は賃金面優遇、普通自動車免許(AT限定可)	正社員以外 2人
	看護職員 看護師または准看護師、普通自動車運転免許(AT限定可)	正社員以外 1人
有限会社 ジーンズマツダ 76・3716	縫製及び事務 年齢不問・学歴不問・経験不問	正社員 1人
	縫製現場職員 年齢不問・学歴不問・経験不問	正社員 1人
松田建設 株式会社 76・2361	土木技術職員 高卒以上、土木施工管理技士二級以上、普通自動車運転免許(AT限定不可)土木施工管理経験者、パソコン操作	正社員 1人
株式会社 中山板金 76・2616	建築板金工(補助) 普通自動車運転免許(AT限定不可)	正社員 1人
豊友建設 株式会社 093・761・7552	スキー場設備管理 普通自動車運転免許(通勤用)、雇用期間:29年11月1日～30年3月8日	正社員以外 2人
社会福祉法人 飯南町社会福祉協議会 76・2170	介護職員(あかぎの里)、平成30年度採用 34歳以下、大学・短大・専修学校卒、介護福祉士または社会福祉士、正社員登用機会あり	正社員以外 2人
	介護職員(あかぎの里)、平成29年度採用 大学・短大・専修学校卒、正社員登用機会あり	正社員以外 2人
	保育士平成30年4月採用 44歳以下、大学・短大・専門学校卒、保育士資格	正社員 3人
株式会社 ファーム木精 72・1999	農作物の栽培管理者 45歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	正社員 2人
有限会社 ホリエ 72・0102	農林業機械の修理販売 普通自動車運転免許(AT限定不可)	正社員 1人

2018年版 島根県民手帳

2018年版の島根県民手帳を販売しています。購入を希望される場合は、役場庁舎各支所窓口で購入してください。

販売場所

役場庁舎・頼原基幹支所・来島支所・志々支所の各窓口

価格

一冊550円(税込み)

お問合せ

企画財政課
電話76・3941

AR動画の視聴方法



飯南町HP QRコード

ARマーク

広報いーなんでは、AR(拡張現実)動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページでご紹介しています。(今月号は表紙に対応写真があります)

森の
たより

子育て中の皆さんにも
町民のための森林セラピー

9月下旬から10月にかけて、22名の皆さんが「町民のための森林セラピー」を体験しました。

この体験では、セラピーの前後に血圧・脈拍・唾液アミラーゼの計測と、POMSと呼ばれるストレス軽減効果を測定する心理テストを行っています。POMSでは、参加者の約8割の人が、



大自然を満喫

が、ストレスが軽減されたという回答結果が得られました。中でも、効果が大きく現れたのは、子育て中のお母さん。子ども成長はうれしいものですが、子育てには苦勞もつき

もの。普段、忙しく余裕がない人こそ、思い切つて森林セラピーを体験してみませんか？

森林セラピー博字講座

植物は、子孫を効率的に広範囲に残すため、例えば、タンポポの綿毛のように、様々な工夫をしています。

「ウバユリ」は、果実の中に、薄く軽い



ウバユリの種。半月状の黒い部分が種で、周りの白い部分がはね



ウバユリの実

種がたくさん入っています。種の周りには薄いはねがついていて、秋から冬にかけて、風に乗ってひらりと飛び散ります。茶色の実を見つけたら、振ってみてください。種の多さに驚きます。

■お問合せ
産業振興課 地域おこし協力隊
電話 76・2214

俳句 琴峯華俳句会 十月例会作品抄

大銀杏下は黄葉の大広間 安部 豊枝 栗むきて栗虫さんに悲鳴あげ
借景は三瓶三山大花野 石田シヅカ バックミラーあふれてあたる秋日差
腰掛けるゆとり給り虫を聞く 垣内 良野 お月見の話をしつつ子と帰る
風揺らす黄色点々秋の草 佐々木康子 りんご畑はるかに光る寺の屋根
母の切なりのこの句ひを胸に 森 征子 八嶋 昭男

短歌 赤名短歌会 十月詠草

庭畑の空日に咲ける大輪の白きタリアに寄りて和みぬ 岩佐 恒子
皮膚の夢にまで見る頃なるに山には神の使い棲みをり 清原 豊明
ハンザケを捕らえたからと子供等を集めて農具習習の先達しのびたり 中村三四一
昇りくる十五夜月を窓に貼り栗のかほりに飯炊き上がる 石田フクエ
跳へ走れはじける笑顔園児らの運動会は天に響けり 鳥田 勝信
「昔トリノ赤城山ア死ス」とあり祖父の痕跡墓石に記さるる 澤田 勝登
君往きし西の彼方は茜色夕空あおぎてかの姿追う 吉川 暎子
大輪の菊の花より秋の野にひっそりと咲く名も知らぬ花 本間 麗子
樟脳の匂いもそのまま思ひ出を軋むダンスにまた任舞いけり 星野 敦子
「羽来てまた」羽来てひるかえり樹に鶴鶴の頭うもはし 澤田久美子
困り果てて頭回らず時が経ち気付けば葬儀もみなしてもらい 門所 詠子



まんが日本昔ばなしの舞台
「おとみーさん」

■お問合せ・情報提供
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
電話76・2864

昔々、八神の龍神橋の上、神戸川と才谷川の合流場所「せんば淵」で、龍の娘が天に昇ろうと思ひ、雨の夜に雲が降りてくるのを見計らって飛び乗ろうとしました。しかし、失敗ばかりで疲れ果ててしまい、しくしくと泣いていると、近くに住む吉兵衛じいさんが訳を聞き助けてあげました。元気を取り戻した娘は、無事に天に昇ることができました。龍の娘は、お礼の印として吉兵衛さんに次の言葉を残したそうです。「ドーと太鼓が1つ鳴れば雨、ドドーと2つ

鳴れば風、3つは雷、4つは大水、5つは悪い病気、6つは大騒動、7つは地震・山津波」それからというもの、八神の人々は、太鼓の音を目安にして災難に備え、安心して暮らすことができたそうです。今でも龍の娘を祀った祠(ほこら)があり、「おとみーさん」と呼ばれています。



詳しく聞くなら、志々公民館へ!

今月の人権標語
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

帰りました 地いきのみんなに 元気よく

いしはら じょう 赤名小4年 石原 丈さん
よしの 家族名 石原 洋司さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやかに 10月届出分

新生児 和久利 依照 洋一 野 蒼
高橋 依照 洋一 野 蒼
小田 将 南 (上赤名)
伊達 士恩 佑 紀 (真木)

やすらがに 10月届出分

お名前 門所 正男 親族 地区
原 康二 誠 彦 (下赤名)
吾郷 泰三 浩 一 (志津見)
安部 俊洋 精 一 (志津見)

今月の表紙
11月4日〜5日の2日間、志津見のうぐいす茶屋周辺で開催された「紅葉祭」。赤、黄、みどりの鮮やかな色のもみじが来場者の目を楽しませていました。
平成16年度から始まったもみじの植樹は3千本を越え、2日間で、県内外から約1500人が、自分か植えたもみじに肥料をやったり、写真を撮ったりしに訪れていました。



まちのスケジュール

2017年 平成29年 12月分
 ■教育 + 健康・保健 *文化・体育 ◆その他



日	月	火	水	木	金	土
11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6

■ 3校合同クリスマスコンサート
 (赤名農村環境改善センター)

■ 中学校修学旅行
 (沖縄) (~9日)
 + ほっと。Café
 (来島保健センター)
 10:00~11:30

+ ほっと。Café
 (来島保健センター)
 10:00~11:30

+ ほっと。Café
 (子育て世代食講座)
 (来島保健センター)
 10:00~13:00

◆ 集落実態調査講演会
 (中山間地域研究センター)
 18:30~

■ お楽しみ会
 (赤名・桜ヶ台保育所)

■ お楽しみ会
 (来島・さつき保育所)

◆ 琴引スキー場
 オープン

■ 終業式
 (頼原小・志々小・来島小・
 頼原中・赤来中)

■ 終業式
 (赤名小)

■ 保育終了(全保育所)
 ◆ 官公庁仕事納め

天皇誕生日

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頼原 志々	7日(木) 8日(金) 9日(土)
赤名	2日(土) 4日(月) 20日(水) 22日(金)
来島	12日(火) 13日(水) 14日(木)

資源物

収集地域	収集日
頼原	20日(水)
赤来	27日(水)

金属類・粗大物

収集地区	収集日
頼原連担地	25日(月)
八神連担地	27日(水)
頼原・八神連担地以外	26日(火)
赤名連担地	18日(月)
来島連担地	20日(水)
赤名・来島連担地以外	19日(火)

ガラス類

収集日
11日(月)
13日(水)
12日(火)
4日(月)
6日(水)
5日(火)

[頼原地域] 電話72・1401 [赤来地域] 電話76・2441

[いいしクリーンセンター] 電話72・9217

※決められた日時をお守りください。

●町の人口5,022人(前月比-9人) ●男性2,338人 ●女性2,684人 ●世帯数2,064戸 H29.11.1 現在

広報 **いいなん** 11月号

小さな田舎からの「生命地域」宣言
 笑顔あふれるまち 飯南町



スマホで広報紙を
読みませんか？